

# 常に勉強 現場主義



古河市議会議長 いずみ

## さとう 泉 議会報告

平成 29 年 6 月 10 日号

市民の皆様には、日頃より市議会活動にご理解、ご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。

平成 27 年 5 月 19 日に指名推薦により、議長（当時 41 才）に就任し、7 つの改革を提案し実行いたしました。今後とも古河市発展のために鋭意努力してまいりますので、皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。

### 弱者優先の 政治を！



『常に勉強』することをこころがけ、実際に足を運び、要望に耳を傾ける『現場主義』で、今後ともしっかりと政策提案をしてまいりますので、ご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



## 7 つの改革 Plus 1

## — 議会改革 —

議会の信頼性や透明性を確保するため、市民に身近で開かれた議会づくりを目指して次の7つの改革を実践してまいりました。

### 1、議場コンサートの実施

少しでも多くの市民皆様に議会を身近に感じ、議場に足を運んでいただくために、これまで6回の議場コンサートを開催しました。

第1回 36名、第2回 42名、第3回 34名  
第4回 37名、第5回 54名、第6回 47名  
合計 250名の市民の皆様をお迎えしました。



(平成 29 年 1 月 14 日 朝日新聞)

## 2、古河市議会古河未来創造特別委員会の設置

二元代表制である議会が、古河市のまちづくりにおける重要課題について積極的に提言を行う。

- ・日野自動車関連事業について
- ・古河駅東部土地区画整理事業について
- ・新庁舎建設について
- ・その他

これまでに、18回にわたる会議、視察、勉強会を開催。



【平成29年3月17日】

針谷市長へ議会(古河市議会古河未来創造特別委員会)からの要望書を提出。  
元文化センター建設予定地に、行政・文化機能が一体となった複合的な公共施設建設等を要望しました。

## 3、一問一答方式の導入

質問内容に関する論点や争点が明らかで、よりわかりやすくするために採用。

### 改革③ 一問一答方式の採用 平成28年第4回定例会から採用

【目的】

質問内容に関する論点や争点が明らかで、よりわかりやすくするために採用



	一括質問一括答弁	一問一答方式
質問回数	3回まで	無制限
質問時間	30分まで	30分(ただし、全体で60分)
質問の仕方	3回とも一括質疑	1題目は、一括質疑 2題目以降は、テーマごとに一問一答方式

## 4、電子採決システムの導入

執行から提出された条例案や予算案に対して、市民から負託を受けた議員一人ひとりが責任や態度を明確にするため。

1番 阿久津 法子	12番 渡辺 松男	23番 小森裕 真城
2番 秋山 聡明	13番 鈴木 隆	24番 山藤 進
3番 柳原 清大	14番 藤原 博洋	
4番 萩原 久典子	15番 長島 晋一	
5番 大島 雄夫	16番 赤坂 真男	
6番 秋原 聖	17番 増田 悠	
7番 高橋 秀樹	18番 高村 誠一	
8番 佐藤 勉	19番 成道 達夫	投票総数 23
9番 佐藤 繁	20番 西本 洋文	賛成 23
議長 10番 佐藤 21番 黒川 輝男	反対 0	
11番 馬合 隆之	22番 鈴木 寛	棄権 0

投票総数	23
賛成	23
反対	0

## 5、議場のライブ配信

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/koga/WebView/>

録画配信は、パソコン・携帯端末から、24時間いつでも、だれでも、どこでもオンデマンドで視聴することができます。

(古河市議会のホームページからアクセスできます。)



古河市議会



## 6、議会報告会の開催

議会活性化と市民に身近で開かれた議会づくりのため、5月20日(土)に議会報告会を開催。多くの市民の皆様に参加していただきました。

### ○ 準備組織

議会報告会作業チーム会議を組織。

(議会運営委員会及び3 常任委員会代表の

14名で構成)

### ○ 報告会の企画、資料作成、会場準備を実施



(平成29年5月30日 茨城新聞)

## 7、政務活動費をホームページにて公表

■ 政務活動費:議員一人あたり 年間支給額30万円

■ 平成28年度分から古河市議会ホームページに収支報告書を公開。

※収支報告書には、領収書の添付を義務化。

### 古河市議会 透明化進む

#### 政活費用途をHPに 一般質問も常時公開

古河市議会は、議員に支給される政務活動費の透明化を図るため、全議員を対象に今年度分からすべての使途をホームページ(HP)で常時公開する。また、12月議会からは、議員の一般質問の様子も市HP上で常時公開する。様々な改革への取り組みを通じ、開かれた議会づくりを進める。

議会事務局によると、昨年、議員提案により議会基本条例を制定・施行し、条例に基づいて議会内で改革の協議を重ねてきた。

古河市議会の議員数は24人。政策立案に向けた調査研究などの活動のために支給される政務活動費は、同年度で議員一人当たり年間30万円。政務活動費の使途を透明化するため、今年度分から全議員を対象に収支報告書を添えて公開することを決めた。佐藤泉議

長によると、議会事務局ですべての領収証の閲覧もできるようにするという。

同市議会は、議員の一般質問は総括質疑形式をとっている。この方式では、議員が一括して質問し、市側がまとめて答弁する。質疑・応答とも総括的となるため、論点や争点不明確になることとされている。議会基本条例に基づいて、12月議会からは、議員が一般質問の際に「一問一答形式を選択できる」とした。

議員は市側の答弁に納得できない場合、与えられた質問時間内で何度でも質疑ができることから、市側の答弁の正確度も増し、論点も明確になる。質問の悪言になるという。

また、同市議会は昨年12月議会から会期中に市内在住・在勤の音楽家による「議場コンサート」を開いている。佐藤議長は「市政の活性化にどうして議会活動の透明化は欠かせない。市民に議会への関心を深めてもらうため、可能な限り改革を進めたい」と話している。(古江宣幸)

(平成28年9月2日 朝日新聞)

## 安倍首相を表敬訪問

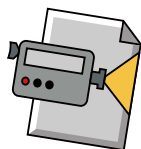


2月22日 首相官邸に古河桃まつりのPRに伺いました。



## Plus 1 更なる「議会の見える化」として

平成29年度は、本会議のライブ中継に続き、常任委員会や予算・決算特別委員会のライブ中継を実施します!



# 古河婚活支援会(会長 佐藤泉)主催のお見合いパーティーを開催

少子化対策のボランティア活動一環として、**愛直便**(愛の直送便)という名前で、2~3ヶ月に1度のペースでお見合いパーティーを開催し、古河市近郊にお住まいの独身男女のステキな出会いをお手伝いしています。  
運営は茨城県知事から、**マリッジサポーター**(結婚支援相談員)として委嘱されたボランティア団体が行っております。



今までに46回のお見合いパーティーを開催し、参加者合計1,648人(男性894人、女性754人)。その中でなんと**308組のカップルが誕生**いたしました。  
報告があっただけで**33組成婚**いたしました。これからも地道に末永く取り組んでいきたいボランティア活動です。



古河市の市議会や市民でつくる「古河婚活支援会」は、毎週数回ずつ、お見合いパーティーを開催している。これまで参加した男女は1500人を超え、288組のカップルが誕生し、報告があっただけで33組がゴールインしたという。  
お見合いパーティーは「愛直便」の名で知られ、10年ほど前から始まった。県内外の40歳未満の未婚の男女が対象だ。  
愛直便の特徴はカップル誕生率の高さだ。7月のパーティーには県外から、女性11人・男性18人が参加し、10組のカップルが誕生した。古河市長が議長で支会会長の佐藤泉さんは「迷っている方の背中をやさしく押してやることを大切に」と話す。  
10月6日には44組のパーティーの会場は、支会会長の佐藤泉(58)と、古河市内の民家レストランで、祝賀会が開かれた。古河市は、古河市が誕生した歴史を誇る。古河市は、古河市が誕生した歴史を誇る。古河市は、古河市が誕生した歴史を誇る。  
10月6日には44組のパーティーの会場は、支会会長の佐藤泉(58)と、古河市内の民家レストランで、祝賀会が開かれた。古河市は、古河市が誕生した歴史を誇る。古河市は、古河市が誕生した歴史を誇る。  
10月6日には44組のパーティーの会場は、支会会長の佐藤泉(58)と、古河市内の民家レストランで、祝賀会が開かれた。古河市は、古河市が誕生した歴史を誇る。古河市は、古河市が誕生した歴史を誇る。

**第48回愛直便**

**2017年9月14日(木) PM7時~受付**

**完全予約制**

場所：レストラン サンローゼ

申込み/問い合わせ先：080-2041-1515 / kogakon@docomo.ne.jp



## プロフィール

- 昭和48年8月20日生まれ
- 古河第三小学校、古河第三中学校
- 総和高等学校、東京科学電子工業専門学校
- 白鷗大学法学部法律学科卒業
- 大学卒業後、研究生として福岡政行研究室で政治学を学ぶ
- 研究生修了後も政治評論家、福岡政行先生に師事
- 平成15年4月より古河市議会議員
- 29才の時に初当選 現在4期目
- 文教常任委員長、厚生常任委員長 文教厚生常任委員長 歴任

- 【現在】
- 古河市議会議長
  - 第3地区(旭、下一、下二、下三、住吉町) 相談役
  - コミュニティ団体「サンゴの会」相談役
  - 下三自治会 相談役
  - 茨城県マリッジサポーター、古河婚活支援会 会長
  - 株式会社 東和 代表取締役
  - (株)古河市情報センター 取締役
  - 一般財団法人古河市地域振興公社 副理事長



**福岡政行 先生に学ぶ**

政治評論家で元白鷗大学教授でもあります福岡政行先生(TV タックル等テレビ番組でおなじみ)に師事し政治学の基礎を学びました。

これからは地方の時代ですので、議員の高度な知識が必要です。元気な古河市にするためにも「常に勉強」「現場主義」でがんばります。

## さとう泉事務所



住所：古河市東本町 3-7-10  
電話：0280-31-2863  
ファクシミリ：0280-31-2863  
Eメール：sato\_izumi\_123@yahoo.co.jp  
Web ページ：http://satoizumi.com/  
ブログ：http://blogs.yahoo.co.jp/sato\_izumi\_123/